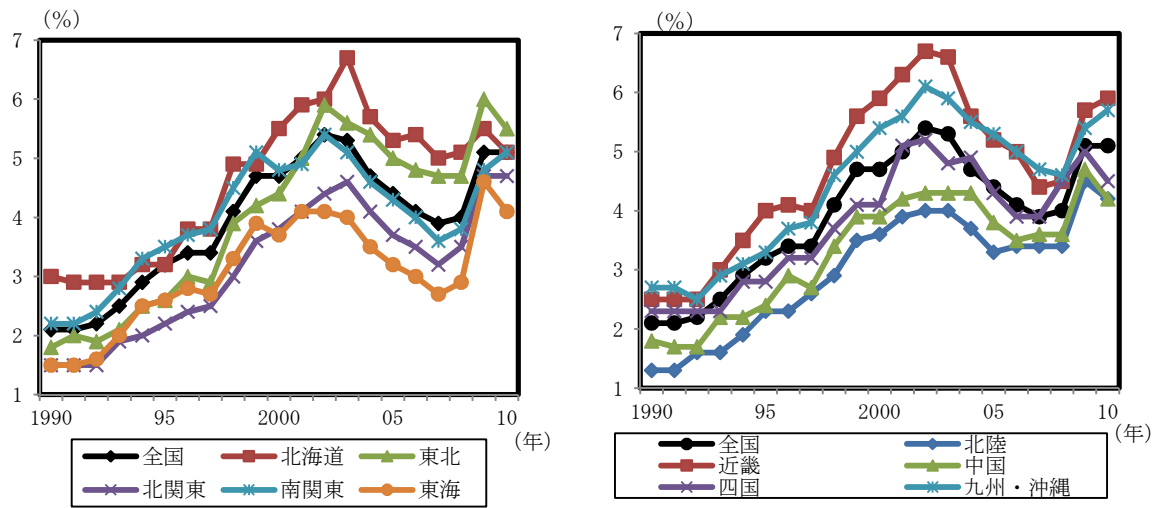
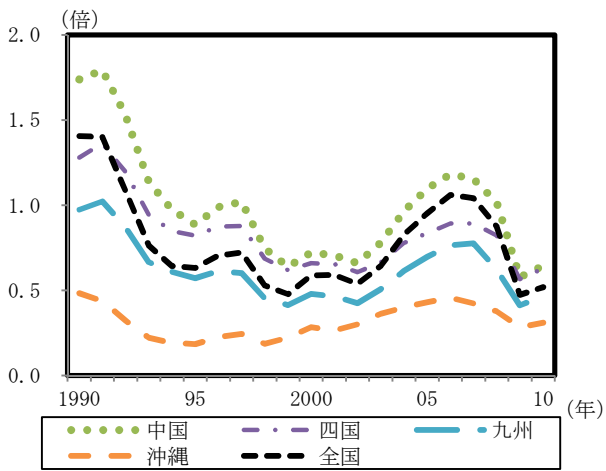
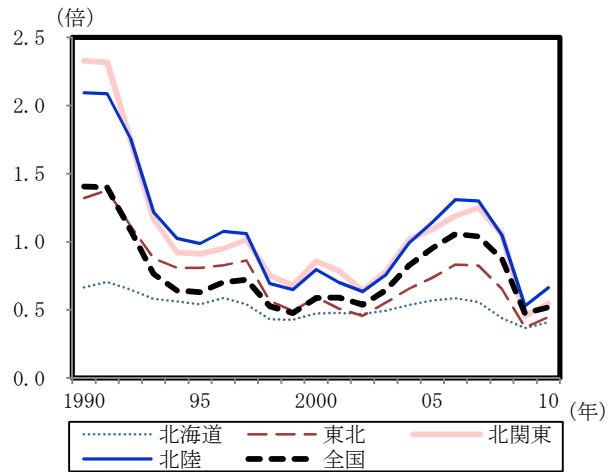
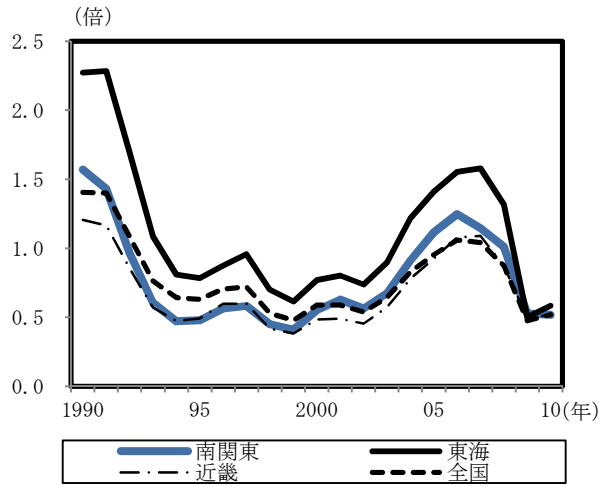


第3-1-1図 完全失業率の地域別推移



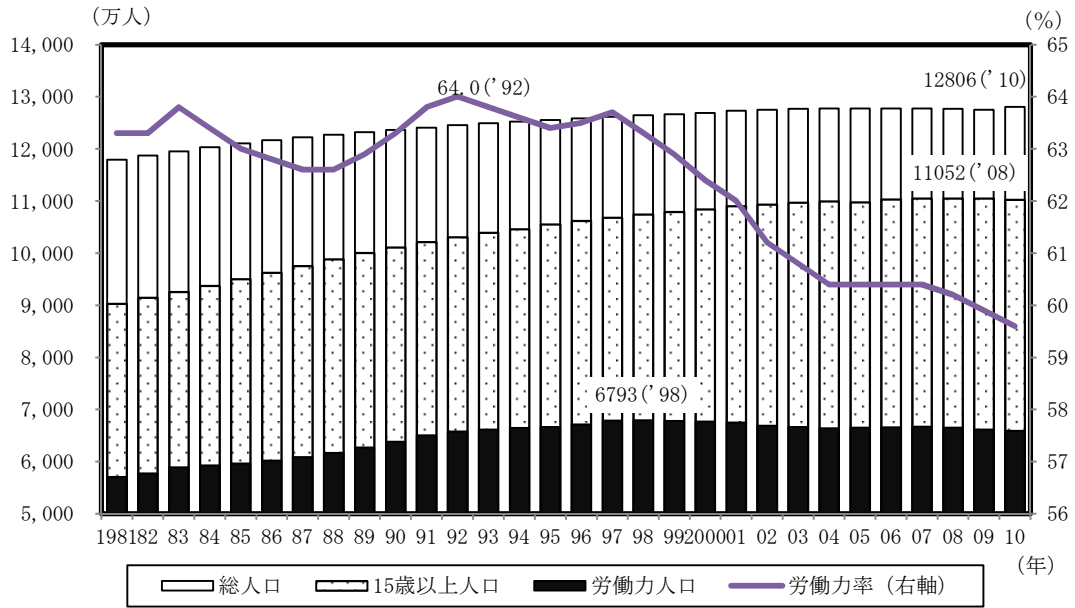
(備考) 1. 「労働力調査」より作成。  
 2. 地域区分はC。

第3-1-2図 有効求人倍率の地域別推移



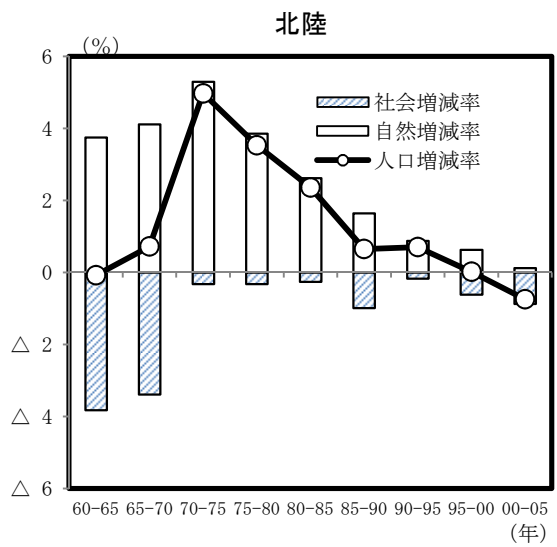
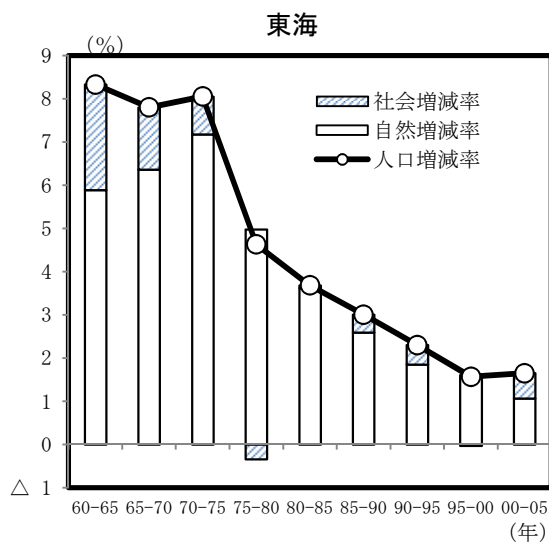
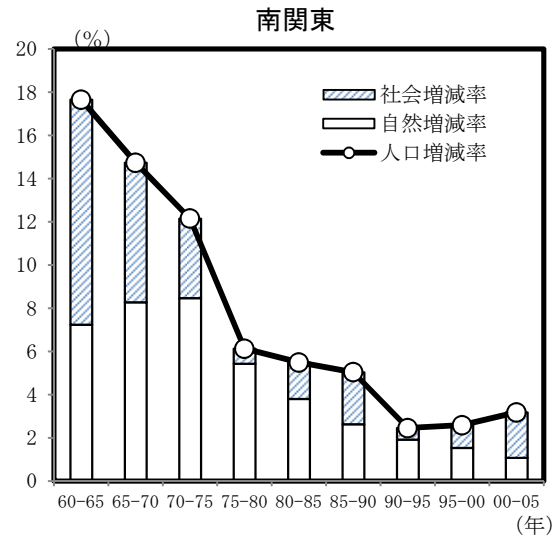
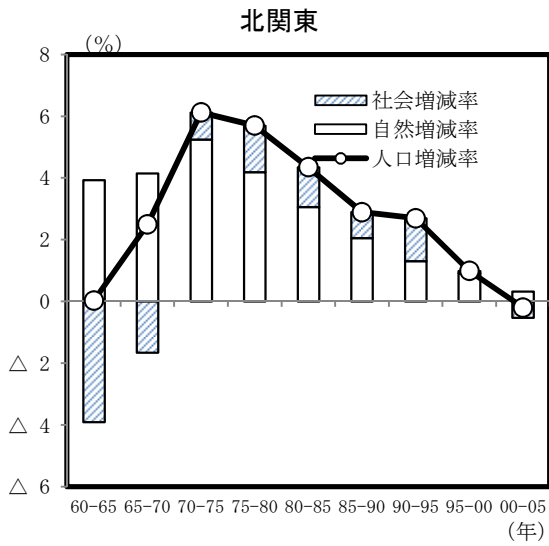
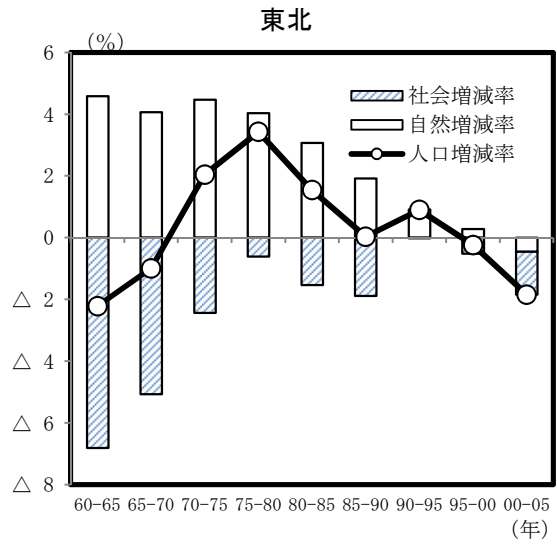
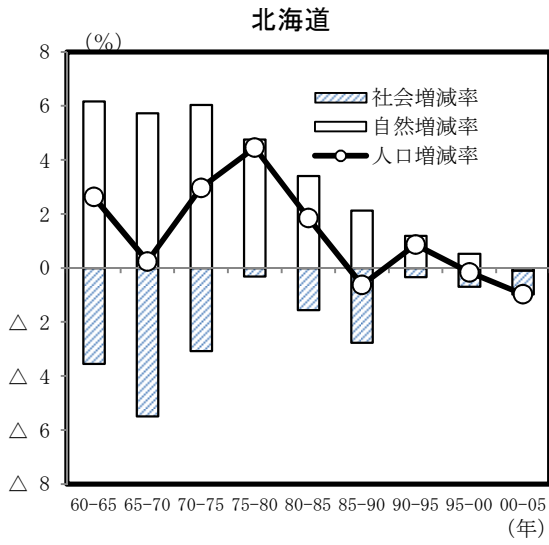
(備考) 1. 厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成。季節調整値。  
2. 地域区分はA。

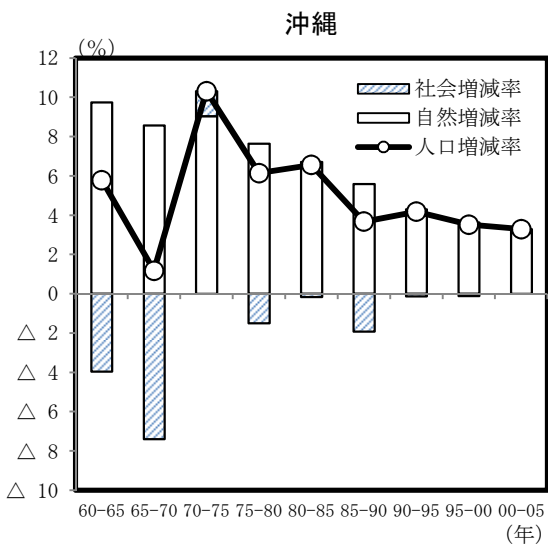
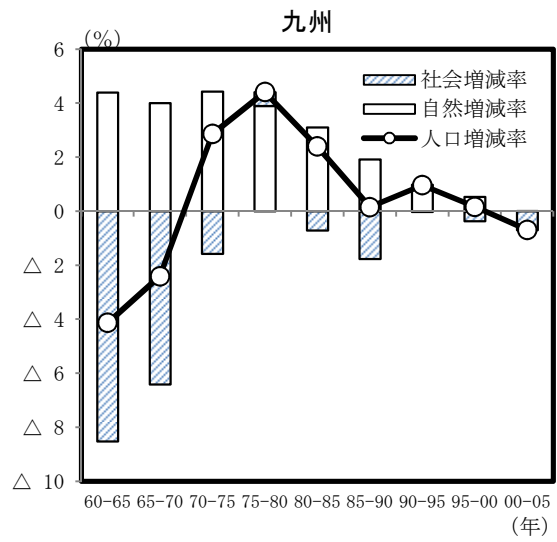
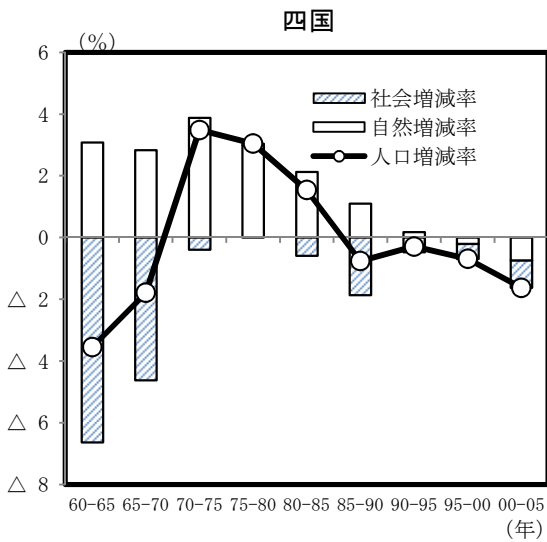
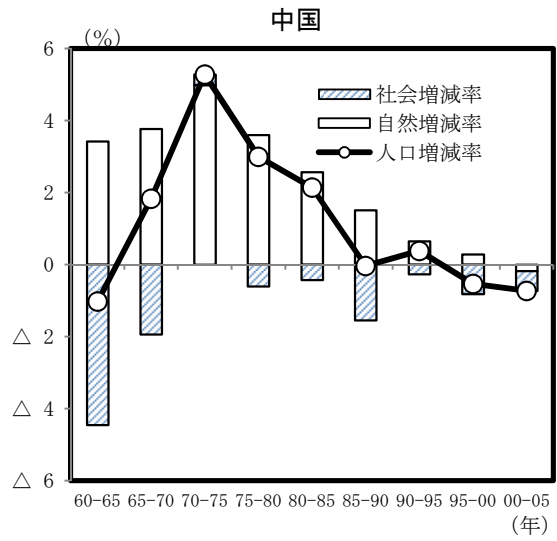
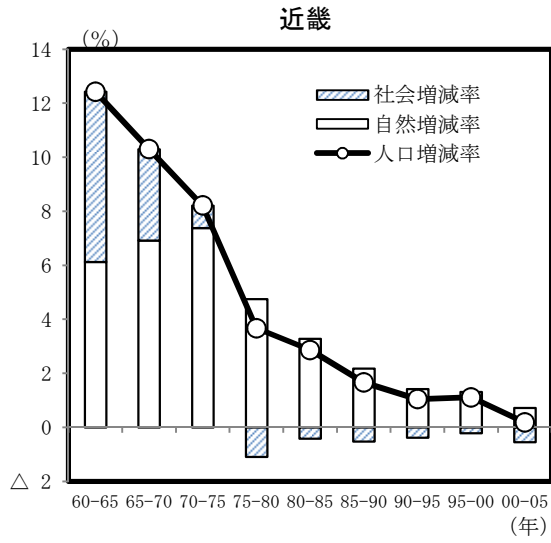
第3-1-3図 全国の総人口・15歳以上人口・労働力人口の推移



(備考) 総人口及び15歳以上人口は 総務省「国勢調査」、「人口推計」より、労働力人口及び労働力率は「労働力調査」より作成。

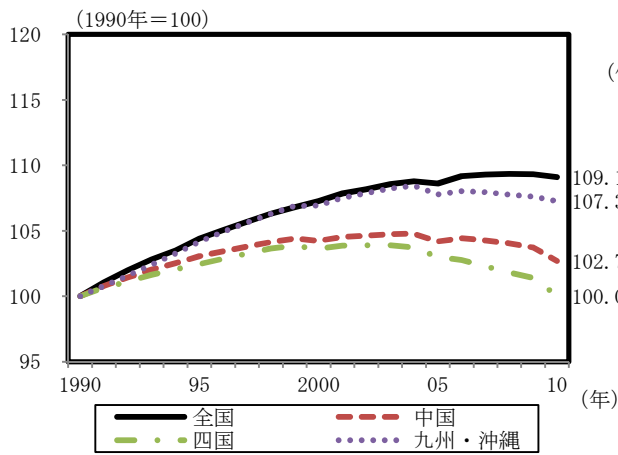
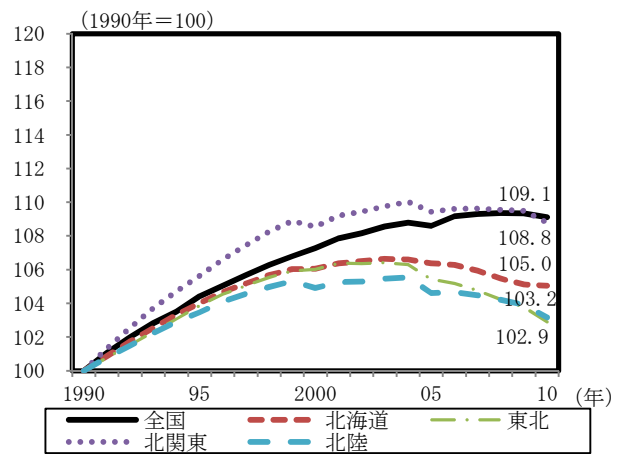
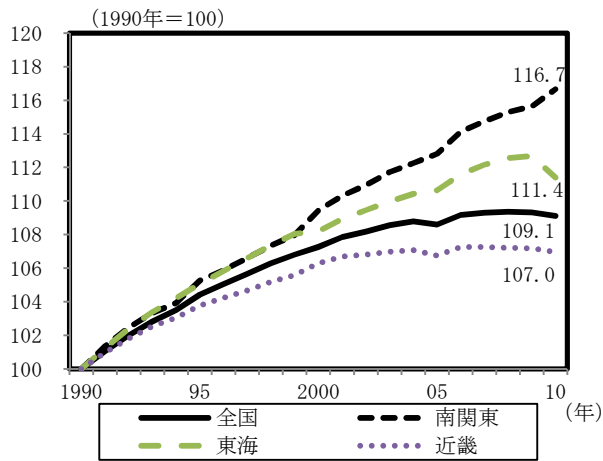
第3-1-4図 地域別人口増減率の推移





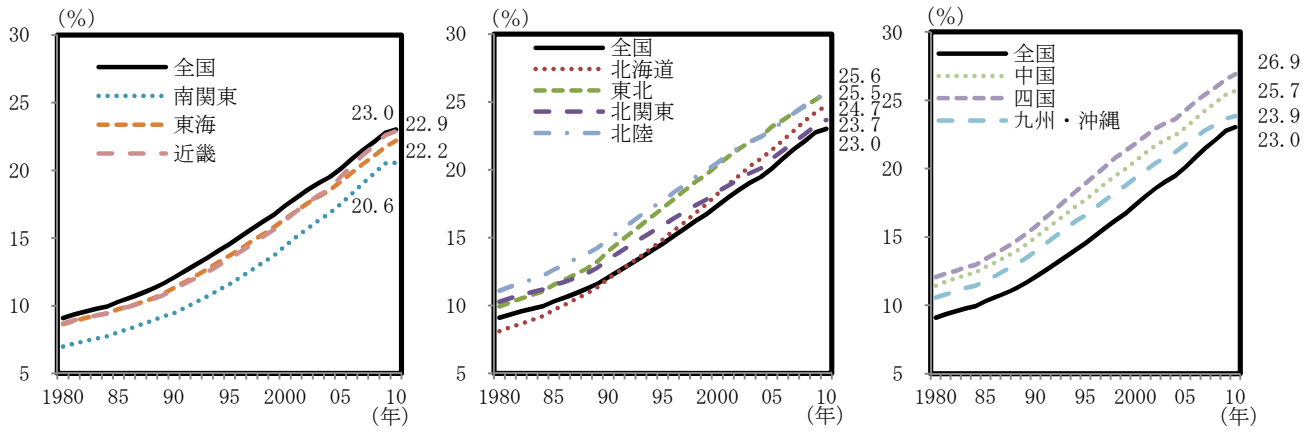
(備考) 1. 総務省「国勢調査」より作成。  
2. 地域区分はA。

第3-1-5図 各地域の15歳以上人口



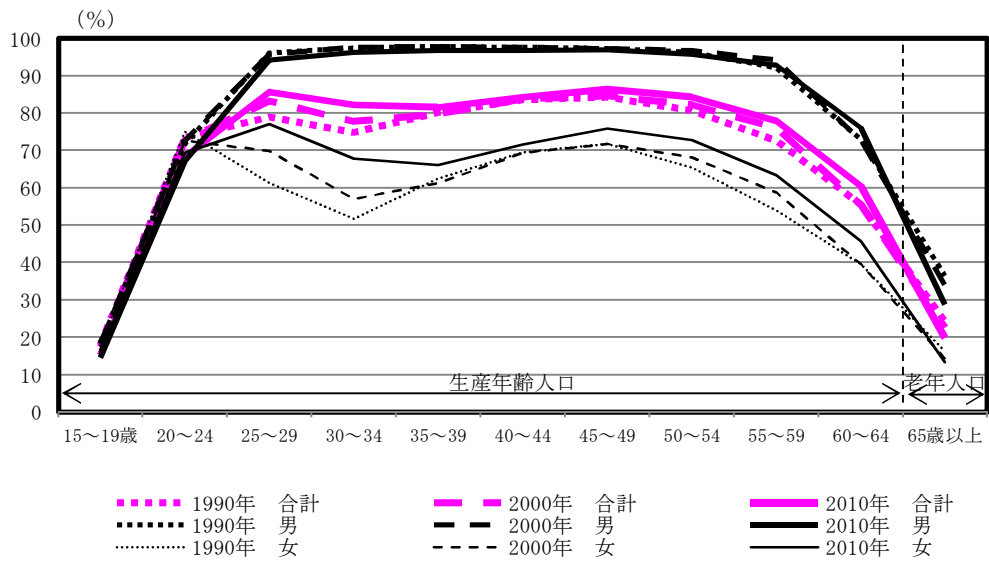
- (備考) 1. 総務省「国勢調査」、「労働力調査」より作成。  
 2. 図中の数字は2010年の値。  
 3. 地域区分はC。

第3-1-6図 地域別老年人口比率



- (備考) 1. 総務省「国勢調査」、「人口推計」より作成。  
 2. 図中の数字は2010年の値。  
 3. 地域区分はC。

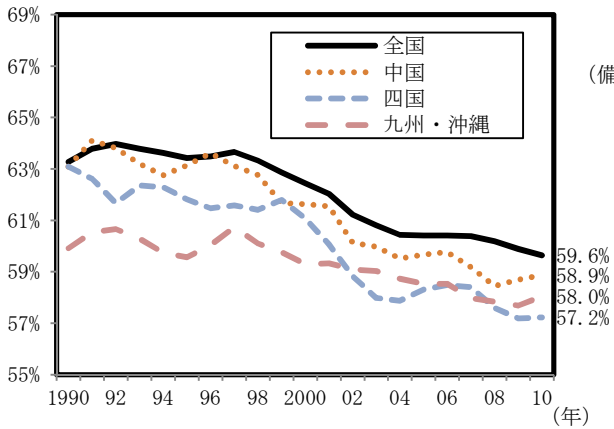
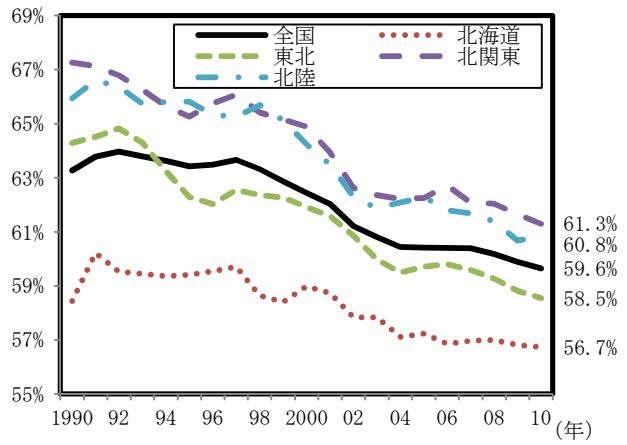
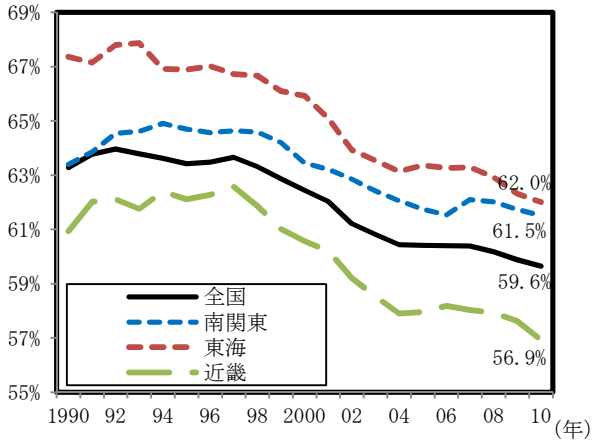
第3-1-7図 年齢別労働力率の推移



(備考) 総務省「労働力調査」より作成。

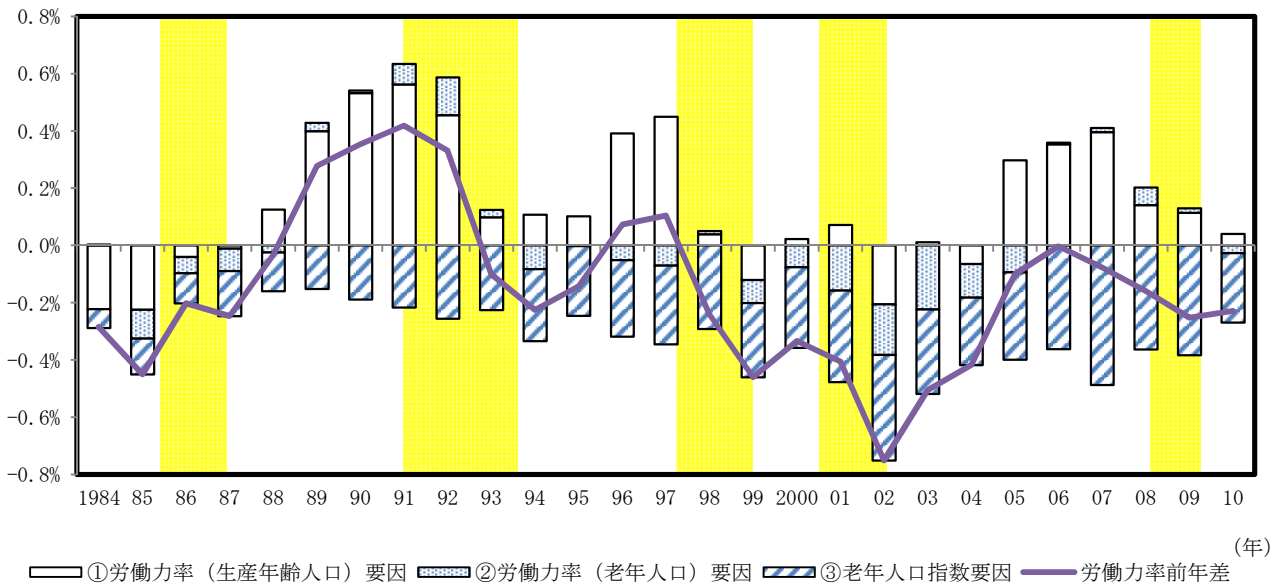


第3-1-8図 地域別労働力率



(備考) 1. 総務省「労働力調査」より作成。  
 2. 図中の数字は2010年の値。  
 3. 地域区分はC。

第3-1-9図 労働力率の変化の寄与度分解



- (備考) 1. 総務省「国勢調査」、「労働力調査」より作成。  
 2. 労働力率の寄与度分解式は以下の通り

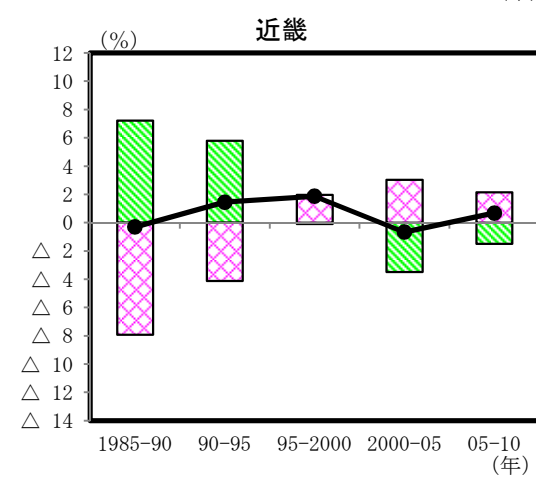
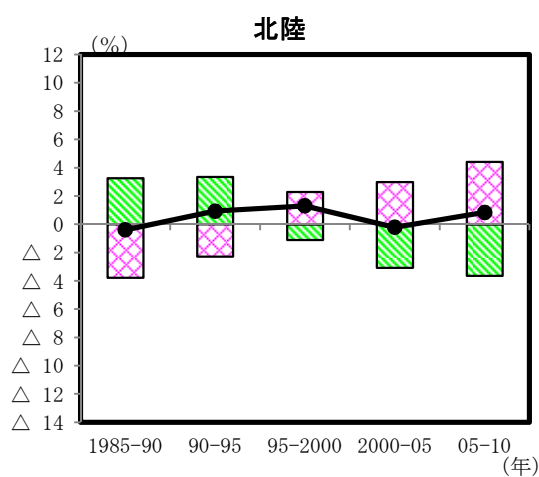
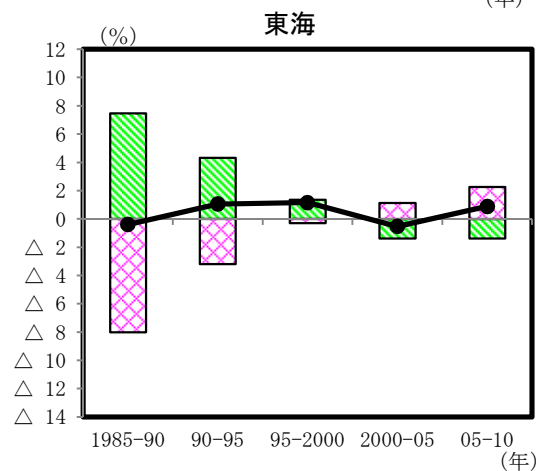
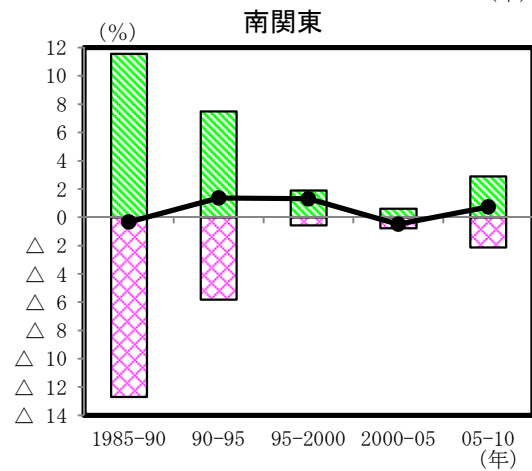
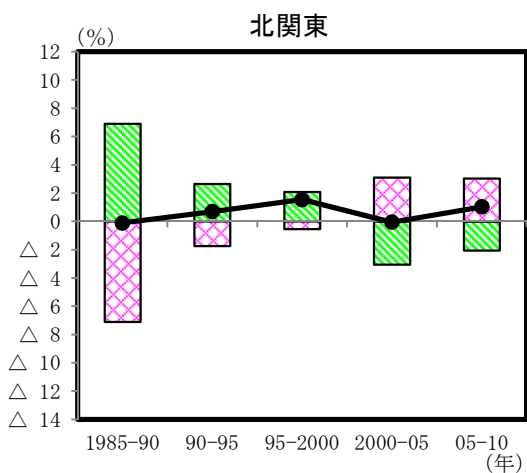
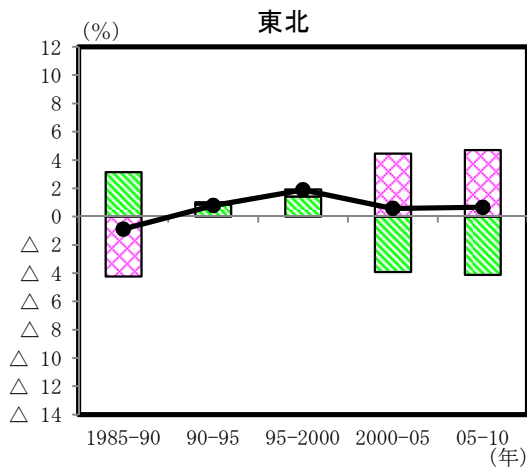
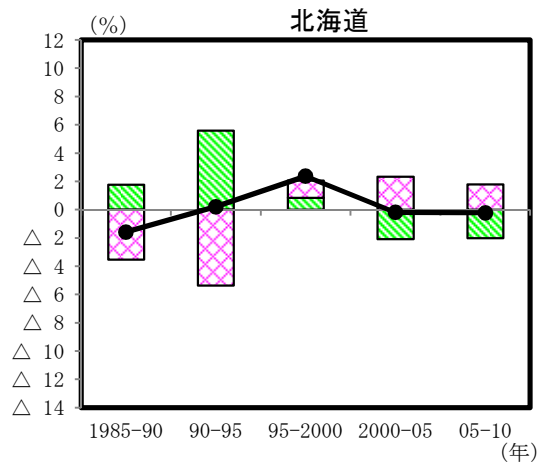
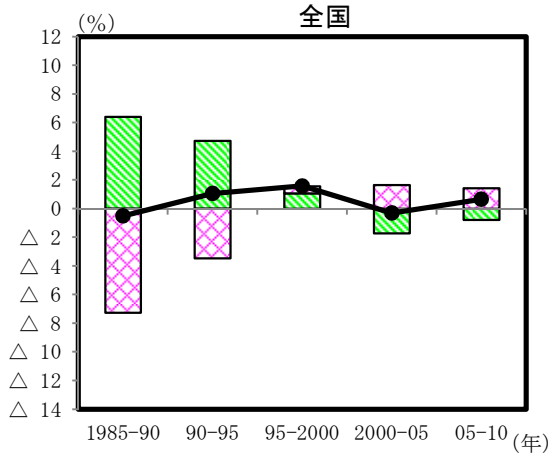
$$\Delta\alpha = (1-z)\Delta\alpha_{15-64} + z\Delta\alpha_{65-} - (\alpha_{15-64} - \alpha_{65-})\Delta z$$

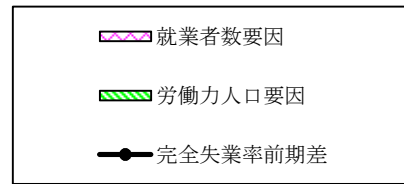
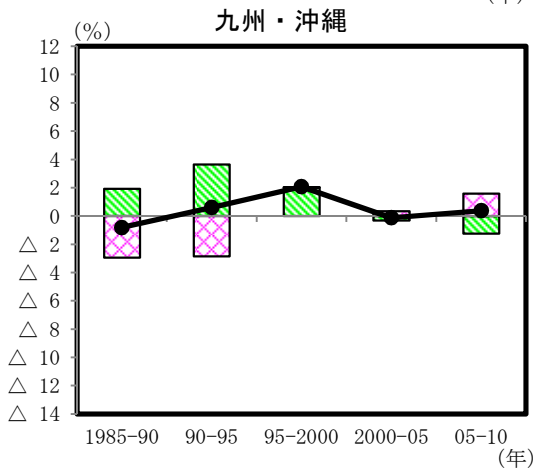
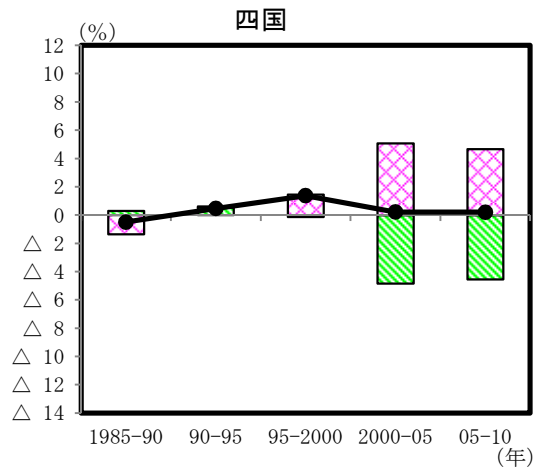
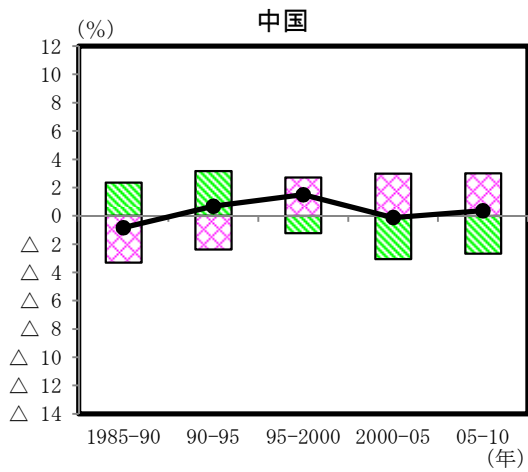
( $\alpha$ : 全体の労働力率、 $\alpha_{15-64}$ : 生産年齢人口の労働力率、 $\alpha_{65-}$ : 老年人口の労働力率、 $z$ : 15歳以上人口に対する老年人口の割合)

ただし、 $z = \frac{\text{老年人口指数}}{1 + \text{老年人口指数}}$

3. シャド一部は景気後退期。

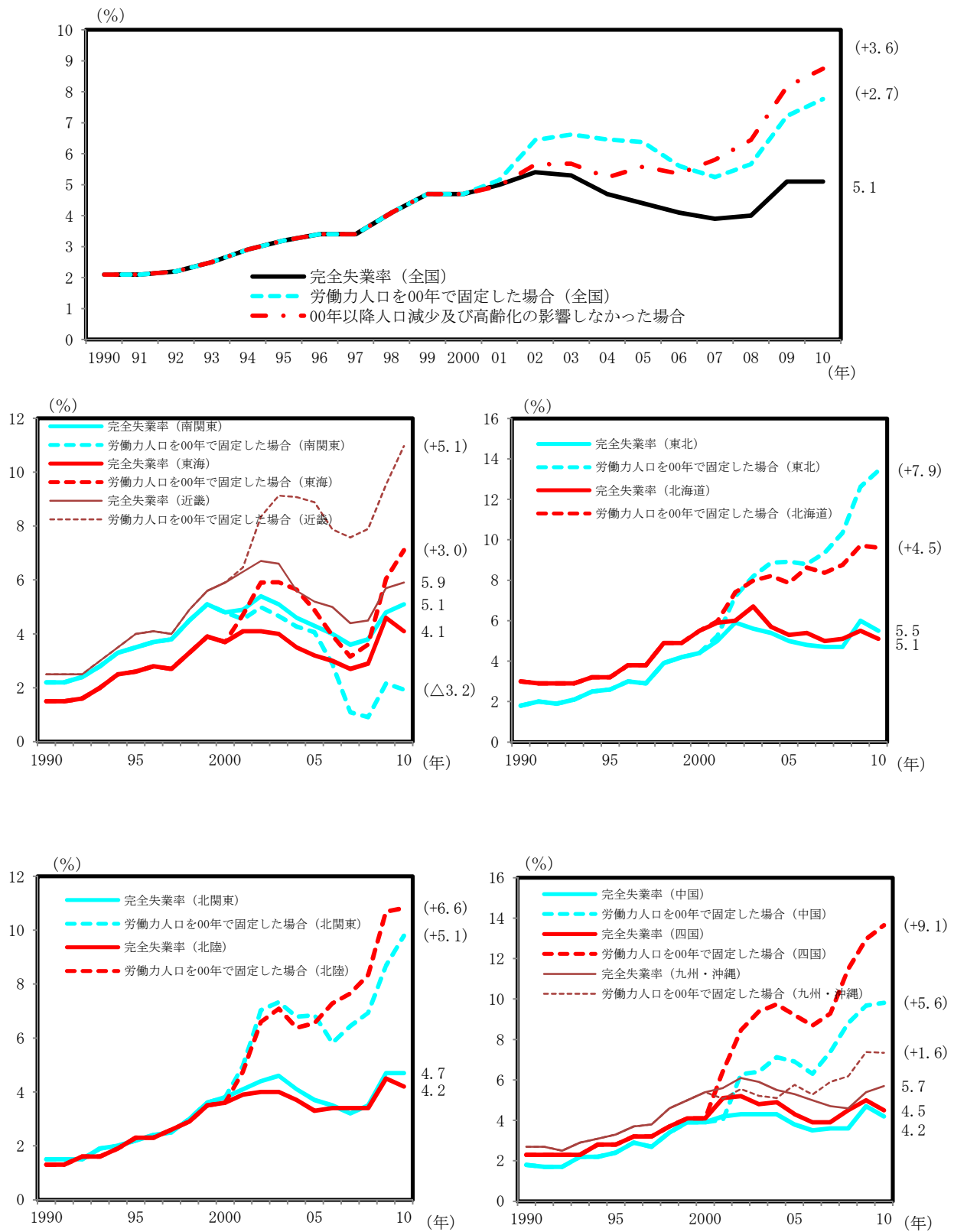
第3-1-10図 地域別完全失業率の変化の寄与度（その1）





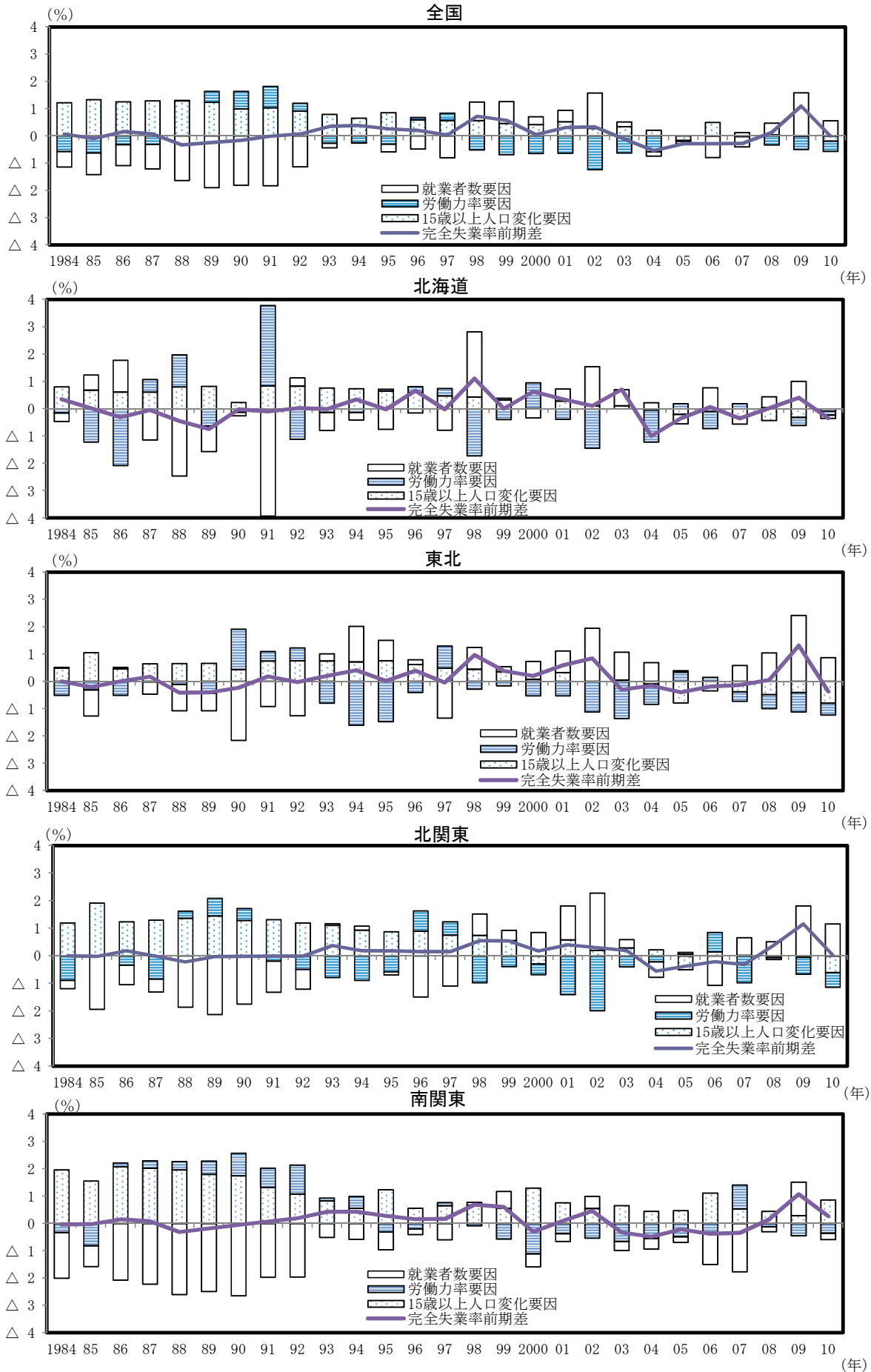
(備考) 1. 総務省「国勢調査」、「労働力調査」より作成。  
2. 地域区分はC。

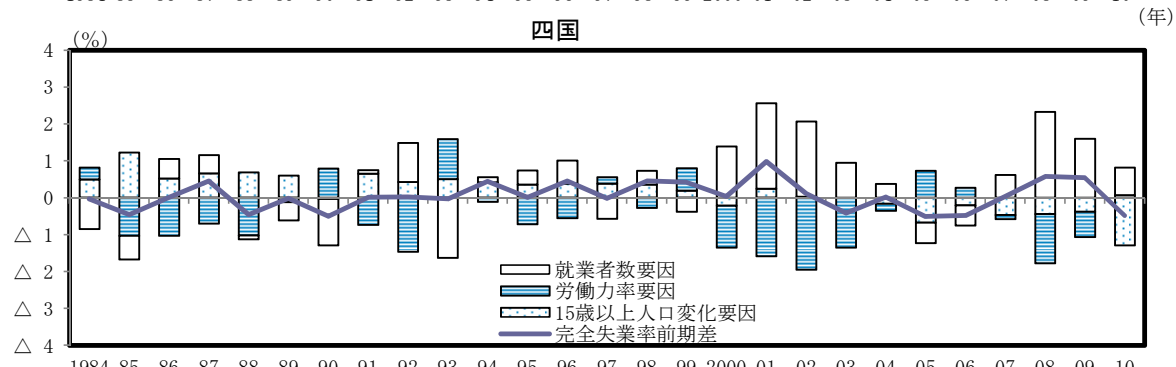
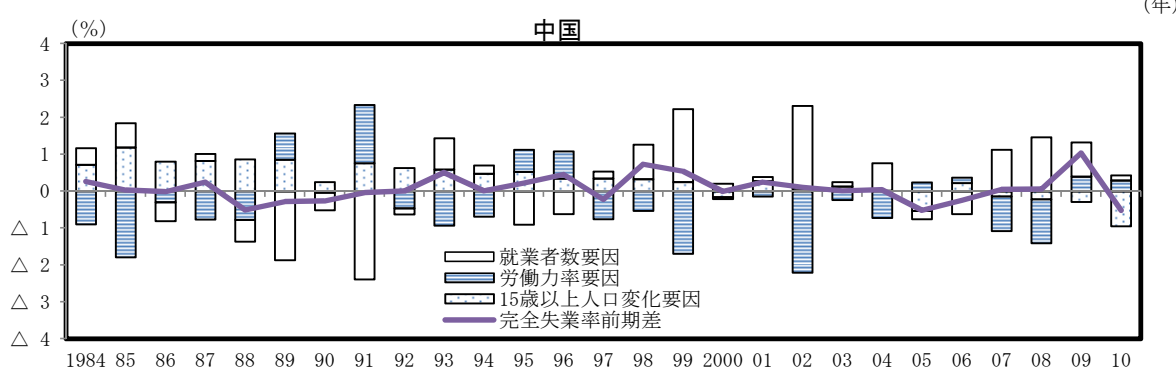
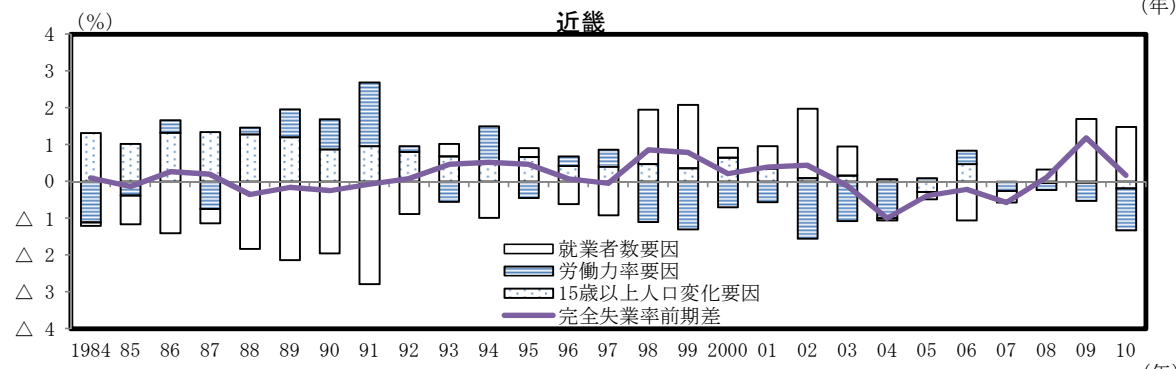
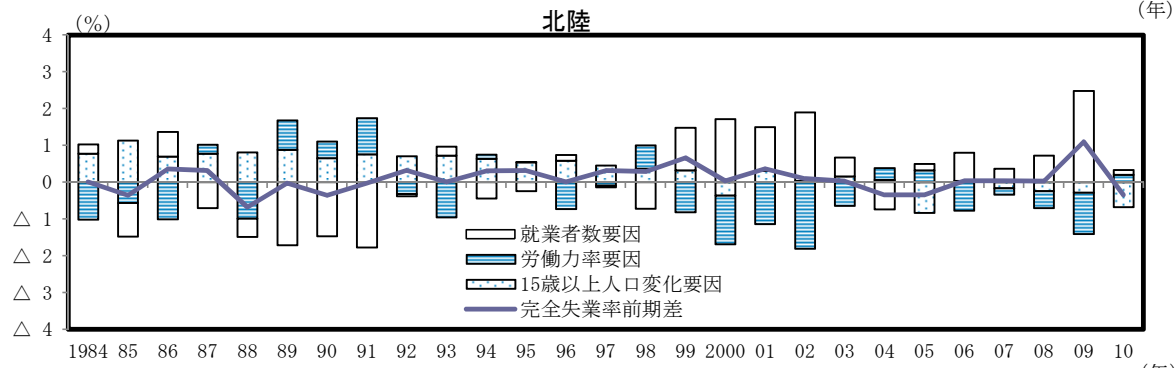
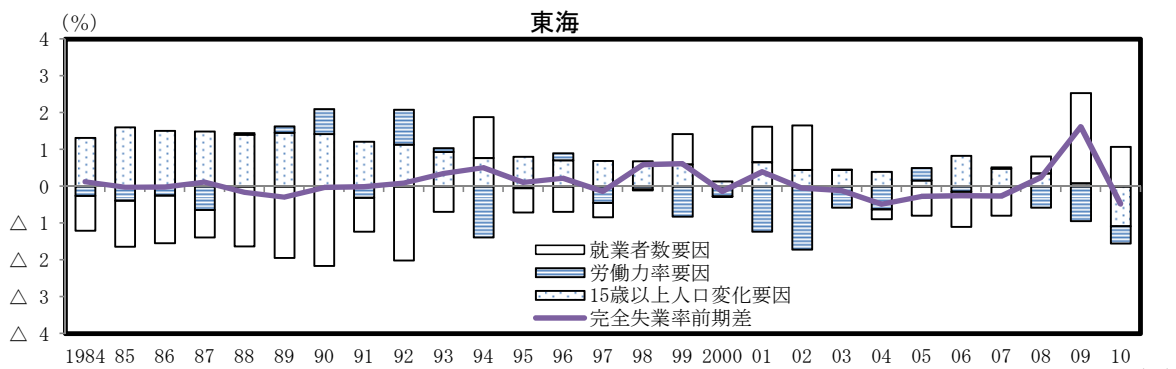
第3-1-11図 労働力人口と失業率の関係

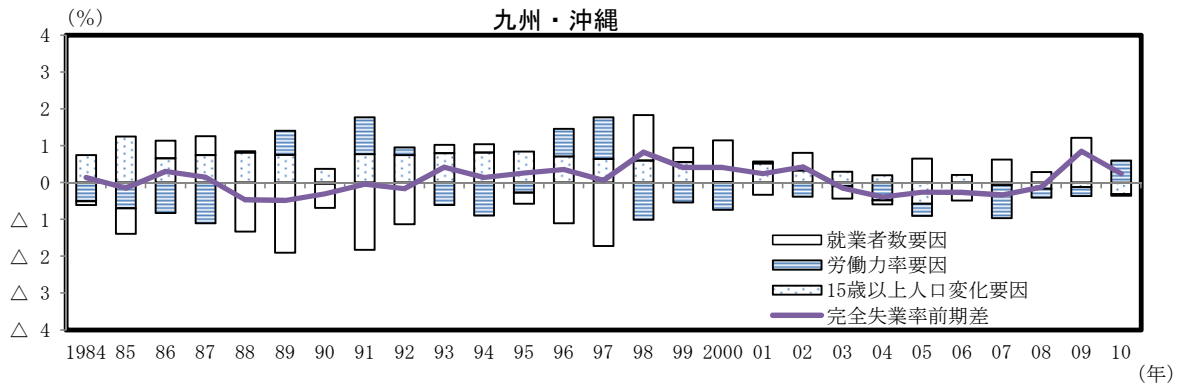


(備考) 1. 総務省「国勢調査」、「労働力調査」より作成。  
2. 地域区分はC。

第3-1-12図 完全失業率の変化の要因分解（その2）







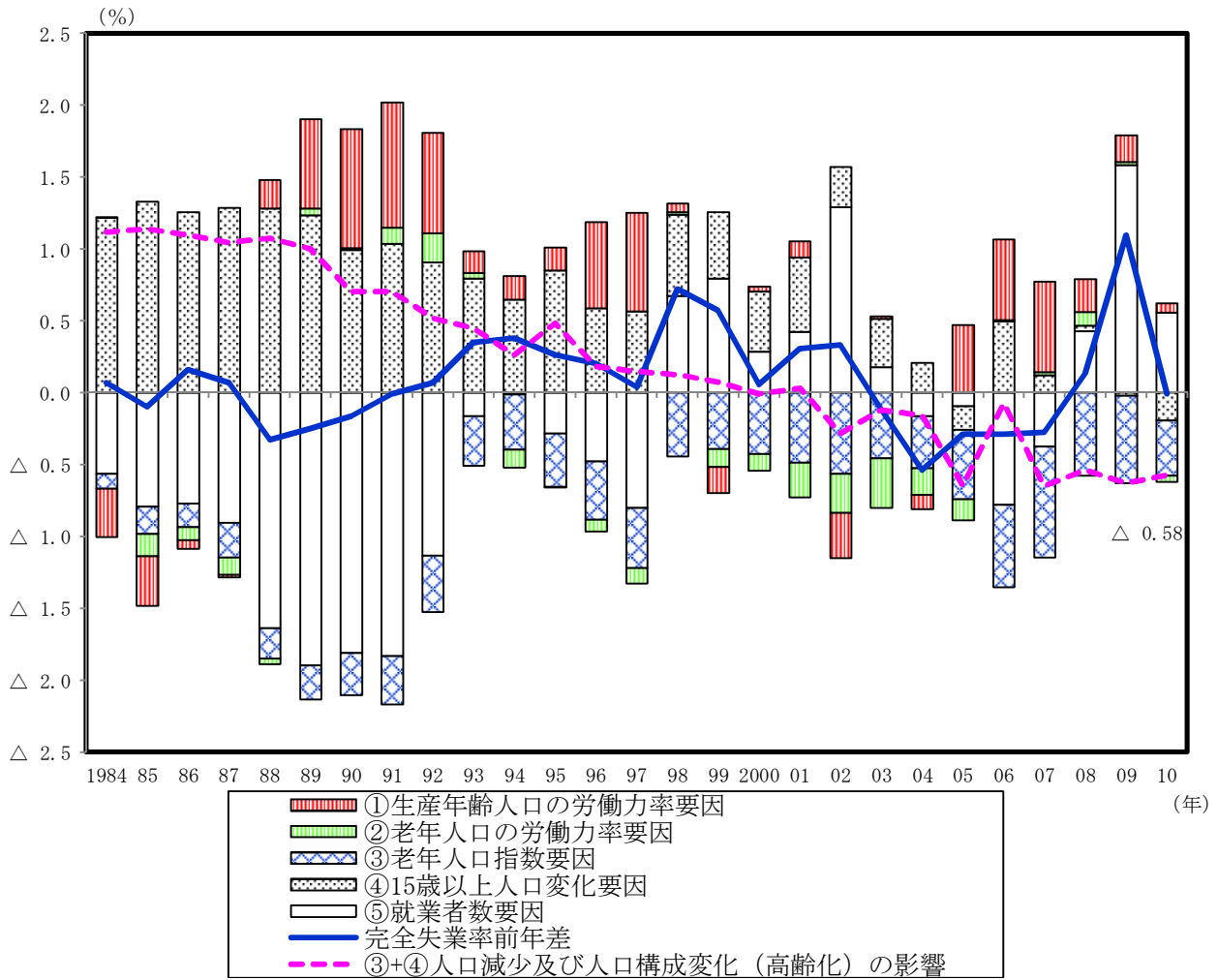
- (備考) 1. 総務省「国勢調査」、「労働力調査」より作成。  
 2. 地域区分はC。  
 3. 完全失業率=1-(就業者数/労働力率×15歳以上人口)より、

$$\Delta u = -\frac{1}{\alpha N} \Delta E + \frac{E}{\alpha N^2} \Delta N + \frac{E}{\alpha^2 N} \Delta \alpha$$

(E:就業者数、 $\alpha$ :労働力率、N:15歳以上人口)



第3-1-13図 完全失業率の変化の寄与度分解（その3）



（備考）1. 総務省「国勢調査」、「人口推計」、「労働力調査」より作成。

2. 要因分解式は以下の通り。

$$\Delta u = \underbrace{\frac{E}{\alpha^2 N} (1-z) \Delta \alpha_{15-64}}_{①} + \underbrace{\frac{E}{\alpha^2 N} z \Delta \alpha_{65-}}_{②} - \underbrace{\frac{E}{\alpha^2 N} (\alpha_{15-64} - \alpha_{65-}) \Delta z}_{③} + \underbrace{\frac{E}{\alpha N^2} \Delta N}_{④} + \underbrace{\frac{1}{\alpha N} \Delta E}_{⑤}$$

（N：15歳以上人口、E：就業者数、 $\alpha$ ：全体の労働力率、 $\alpha_{15-64}$ ：生産年齢人口の労働力率、 $\alpha_{65-}$ ：老年人口の労働力率、z：15歳以上人口に対する老年人口の比率）

ただし、 $z = \frac{\text{老年人口指数}}{1 + \text{老年人口指数}}$